

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
コミュニケーション関係学教育におけるアクティブ・ラーニングの事例研究  
開催要項

1. 開催の目的

本協会で作成した教育改善モデル及び教員の実践事例を踏まえて、アクティブ・ラーニングを実現するための様々な教育方法、学修環境を整理・研究する中で、ICTの活用を含めた効果的な取り組みの促進を目指します。

2. 開催のねらい

- ① 学生の主体性を引き出し・伸ばす学修の重要性を認識します。
- ② 一方向的な授業とは異なり、学生の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学修法を認識します。問題発見学修、問題解決学修、体験学修、調査学修等が含まれますが、グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等、有効なアクティブ・ラーニングの方法・環境について探求します。

3. 事前準備について

- (1) 主体性を引き出すための初年次教育について、事前に本協会ビデオ・オンデマンド配信事業の「主体性を育む授業とは」安西祐一郎氏の映像資料を閲覧してご参加下さい。

※ 本協会のビデオ・オンデマンド配信事業（有料）は利用申し込みが必要です。大学で利用申し込みされているかご確認下さい。なお、参加されていない大学は参加いただくか、下記の講演資料をご一読下さい。

① ビデオ・オンデマンド配信事業のご案内	<a href="http://www.juce.jp/ondemand/">http://www.juce.jp/ondemand/</a>
大学での利用申込確認・視聴方法について	<a href="http://www.juce.jp/senmon/ondemand/">http://www.juce.jp/senmon/ondemand/</a>
② 安西氏の講演資料	<a href="http://www.juce.jp/senmon/active/">http://www.juce.jp/senmon/active/</a>
③ 産学連携 PBL 実践報告の関連資料（ベネッセ教育総合研究所）	

- (2) アクティブ・ラーニングについて理解を共有するため、併せて以下の資料をご一読下さい。

① 本協会が作成した教育改善モデル	<a href="http://www.juce.jp/senmon/active/">http://www.juce.jp/senmon/active/</a>
② 長崎大学のアクティブ・ラーニング関連資料	

4. プログラム 【平成 27 年 3 月 7 日（土）14：00～16：00】

- (1) 開催趣旨説明とこれまでの研究の経緯
- (2) 様々なアクティブ・ラーニングの取り組みに関する話題提供

① 「異文化コミュニケーション協働学修」

鈴木 利彦 氏（早稲田大学 商学学術院 准教授）

② 「多様性を育むための問題解決型学修の考察」

北根 精美 氏（常磐大学 国際学部 教授）

③ 「参加者による話題提供」

\* 当日話題提供いただける方は、申込書にてお知らせ下さい。なお、発表の採否は本協会のコミュニケーション関係学グループ運営委員会に一任下さい。

- (3) 意見交換

分野別の教育改善モデル及び話題提供を題材に、アクティブ・ラーニングを効果的に進めるための意見交換を行います。その際、取り組みが十分達成されない要因、今後の改善点、教育効果を判定する基準・方法などの課題について議論する予定にしています。

- (4) 課題整理とまとめ

5. 参加対象者

私立大学に所属する教員及び教育支援に関係する職員

## 6. 日 程

平成 27 年 3 月 7 日（土）14：00～16：00

## 7. 会 場

成城大学 3 号館 2 階 3 2 H 教室

〒 157 - 8511 東京都世田谷区成城 6 - 1 - 20

## 8. 定 員

30 名（先着順で受け付けます。）

## 9. 参加費

無料

## 10. その他

話題提供と意見交換の様子（意見交換は背面からの遠景）を個人情報に配慮して収録し、映像は編集後に加盟校に限定してネット上で動画配信します。

また、意見交換による課題の整理は文章で本協会委員会の Web に掲載する予定にしております。

### 11. 資料について

当日は資料の配布はいたしませんので、必要な資料は各自印刷の上ご持参ください。なお、話題提供の資料は開催の 1 週間前を目途に以下の URL に掲載します。

<http://www.juce.jp/senmon/active/>

### 12. 参加申込について

参加される方は、別紙の申込書に記入の上、FAX またはメールにて 2 月 27 日（金）までにお申し込み下さい。

話題提供を希望される方は、別紙の「話題提供申込書」にて FAX 又はメールにて 2 月 23 日（月）までにお申し込み下さい。なお、発表の採否は 3 月 2 日（月）までにご連絡いたしますので、本協会のコミュニケーション関係学グループ運営委員会に一任ください。

## コミュニケーション関係学教育における

### アクティブ・ラーニング事例研究参加申込書

※ 必要事項を記入の上、FAX（03-3261-5473）またはメール（bbscom@juce.jp）にて2月27日（金）までにお申し込み下さい。

- ・ご記入いただいた個人情報は、本協会の事務連絡及び委員会活動の案内に限定して利用させていただきます。
- ・データベース管理作業の外部委託の際には目的外の利用や情報の流出がないよう、十分留意いたします。

#### 『参加者記入欄』

※ できるだけ詳しくご記入下さい。後日、収録ビデオ配信のご案内や、今後の活動のご案内をさせていただきます。

ふりがな（ \_\_\_\_\_ ）

氏名： \_\_\_\_\_

大学名： \_\_\_\_\_

所属・役職： \_\_\_\_\_

E-Mail： \_\_\_\_\_

今回のアクティブ・ラーニング研究対話集會に期待することを記入して下さい。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## コミュニケーション関係学教育における

### アクティブ・ラーニング事例研究話題提供申込用紙

※ 必要事項を記入の上、FAX（03-3261-5473）またはメール（bbscom@juce.jp）にて2月23日（月）までにお申し込み下さい。なお、発表の採否は3月2日（月）までにご連絡いたします。

- ・ご記入いただいた個人情報は、本協会の事務連絡及び委員会活動の案内に限定して利用させていただきます。
- ・データベース管理作業の外部委託の際には目的外の利用や情報の流出がないよう、十分留意いたします。

#### 『話題提供申込者記入欄』

※ できるだけ詳しくご記入下さい。後日、収録ビデオ配信のご案内や、今後の活動のご案内をさせていただきます。

ふりがな（ \_\_\_\_\_ ）

氏名： \_\_\_\_\_

大学名： \_\_\_\_\_

所属・役職： \_\_\_\_\_

E-Mail： \_\_\_\_\_

話題提供の発表を希望される方は、下記の点を踏まえて記入欄に記入して下さい。

① 話題提供の表題（タイトル）

\_\_\_\_\_

② アクティブ・ラーニングに向けて工夫した点

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

③ 主なアクティブ・ラーニングの手法

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

④ 課題・問題、今後の改善点

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

⑤ アクティブ・ラーニングの充実に向けた提案等

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_